

BroadWorks ADPサーバと混在アプリケーションのアップグレード

内容

[はじめに](#)

[設計](#)

[Java JREの変更が2025.07以降に与える影響](#)

[アプリケーションが混在するリリース24.0からのADPのアップグレード](#)

[アプリケーションが混在するリリース25.0からのADPのアップグレード](#)

[アプリケーションが混在するリリース26.0からのADPのアップグレード](#)

はじめに

このドキュメントでは、2025.07でのJava JREの変更が、リリースに依存しないアプリケーションと依存するアプリケーションの両方を使用するADPのアップグレードにどのように影響するかについて説明します。

設計

Application Delivery Platform(ADP)は、バージョン24.0以降のXtended Service Platform(XSP)とProfile Server(PS)の代わりとなるBroadWorksサーバです。

アプリケーションには、リリース非依存(RI)アプリケーションとリリース依存アプリケーションの2種類があり、これらはリリースアンカー(RA)と呼ばれることもあります。

- ・ リリース依存アプリケーションには、アプリケーション名にBroadWorksのメジャーリリースバージョンが含まれています。これらのアプリケーションは、Application Server(AS)のアップグレード後に更新する必要があり、ASの古いメジャーリリースとの下位互換性がありません。
- ・ リリース独立型アプリケーションには、アプリケーション名にBroadWorksのメジャーリリースバージョンがありません。これらのアプリケーションは、Application Server(AS)をアップグレードする前に更新する必要があり、古いバージョンのASと下位互換性があります。

ADPは、リリースに依存しないアプリケーションまたはリリースに依存するアプリケーションのみを対象とし、サーバ単位で動作します。ただし、これは適用されず、ADPでは両方のアプリケーションタイプを1台のサーバに導入できます。

Java JREの変更が2025.07以降に与える影響

BroadWorksシステムをアップグレードする場合、アプリケーション・サーバー(AS)の前にリリース独立型アプリケーションをアップグレードし、ASの後にリリース依存型アプリケーションをアップグレードする必要があります。

通常、これは問題ではなく、ADPのアップグレード、リリースに依存しないアプリケーションの更新、およびASのアップグレード後のリリースに依存するアプリケーションの更新が可能です。ただし、2025.07以降にアップグレードする場合は不可能です。

リリース2025.07では、すべてのBroadWorksコンポーネント用にJava JDKをバージョン11にアップグレードします。その結果、Java 8用に構築されたアプリケーションとJava 11用に構築されたADPとの間に互換性がありません。つまり、2025.07以降にアップグレードする場合は、ADPと同時にすべてのアプリケーションをアップグレードする必要があります。ADPにリリース独立型アプリケーションとリリース依存型アプリケーションの両方が配備されている場合、これは問題になります。リリース依存アプリケーション専用 (RIアプリケーションが導入されていない) のADPでは、この問題は発生せず、通常どおりASの後でアップグレードされます。

アプリケーションが混在するリリース24.0からのADPのアップグレード

リリース24からアップグレードする場合は、簡単な回避策があります。リリース24のサポート終了は2026年7月31日です。これは、リリース24のアプリケーションが更新されたことを意味します。

アップグレード手順：

- ・ 24.0リリース依存アプリケーションおよびリリース非依存アプリケーションの最新バージョンをインストールします。ただし、アプリケーションを手動で更新しないでください。
- ・ ADPのアップグレード：このアップグレードでは、Java 11を使用するリリース依存アプリケーションとリリース非依存アプリケーションが自動的に更新されます。
- ・ ASを26.0にアップグレードします。
- ・ 26.0のリリース依存アプリケーションのバージョンを更新します。

ファイル名が.warで終わる一部のアプリケーションは、リリース依存アプリケーションまたはリリース独立型アプリケーション (BWCallSettingsWeb_1.15.20_2.warなど) の通常の命名標準に合っていません。これらのアプリケーションは手動で更新する必要があります。

アプリケーションが混在するリリース25.0からのADPのアップグレード

リリース25は2024.07が25の最後のリリースであり、リリース26は2024.08から始まるため、アップデートを受信していません。これは、25のリリース依存アプリケーションが更新されていない

ことを意味します。システムを2回の手順でアップグレードする必要があります。アップグレードしない場合は、リリースに依存しないアプリケーションとリリースに依存するアプリケーションが別々のADPにインストールされます。

アップグレード手順：

1. ADPを2025.06にアップグレードします。
2. リリース独立型アプリケーションをインストールして更新します。
3. ASをリリース26にアップグレードします (2025.07よりも後のリリース26.0バージョンを選択できます)。
4. 26.0のリリース依存アプリケーションのバージョンを2025.06までに更新してください。
5. 26.0リリース依存アプリケーションおよびリリース非依存アプリケーションの最新バージョンをインストールします。ただし、アプリケーションを手動で更新しないでください。
6. ADPを2025.07以降にアップグレードします。このアップグレードでは、Java 11を使用するリリース依存アプリケーションとリリース非依存アプリケーションが自動的に更新されます。
7. 必要に応じて、残りのアプリケーションを更新します。

ファイル名が.warで終わる一部のアプリケーションは、BWCallSettingsWeb_1.15.20_2.warのようなリリース依存アプリケーションまたはリリース非依存アプリケーションの通常の命名標準と一致しません。これらのアプリケーションは手動で更新する必要があります。

アプリケーションが混在するリリース26.0からのADPのアップグレード

26.0から2505.07以降のバージョンにアップグレードする場合は、アップグレードの前にリリースに依存するアプリケーションをインストールする必要があるだけです。

アップグレード手順：

- 26.0リリース依存アプリケーションおよびリリース非依存アプリケーションの最新バージョンをインストールします。ただし、アプリケーションを手動で更新しないでください。
- ADPのアップグレード：このアップグレードでは、Java 11を使用するリリース依存アプリケーションとリリース非依存アプリケーションが自動的に更新されます。
- ASをアップグレードします。
- 必要に応じて、残りのアプリケーションを更新します。

ファイル名が.warで終わる一部のアプリケーションは、リリース依存アプリケーションまたはリリース独立型アプリケーション (BWCallSettingsWeb_1.15.20_2.warなど) の通常の命名標準に合っていません。これらのアプリケーションは手動で更新する必要があります。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。